

令和3年度第1回 沿岸広域振興圏地域連携懇談会における御意見に対する対応状況

開催日：令和3年8月6日（金） 14時～15時20分

場 所：釜石地区合同庁舎 4階 大会議室

No.	御意見	対応状況・対応方針	
		対応部	内容
1	<p>【山元一輝委員】 釜石港の公共ふ頭は非常に狭い。いわて県民計画でも、機能拡充した港湾施設を活用した地域産業の振興がうたわれているので、対応をお願いしたい。</p>	土木部	<p>県では、現在の施設の利用促進や、コンテナ貨物取扱量の更なる増加を図るため、これまで、釜石港のコンテナターミナルにおけるリーファーコンテナの電源増設や照明塔の整備を進めてきたところです。</p> <p>ふ頭用地造成及び岸壁新設については、震災後の釜石港を取り巻く状況の変化や今後の利用見通しを踏まえ、釜石港の長期開発構想を策定する時期等も考慮しながら、施設整備の方針を検討していきます。</p>
2	<p>【内金崎加代子委員】 高齢者が活躍する場が欲しいと思っている。もう少し活躍できる場があると、生きがいをもって元気で頑張れると思う。</p>	保健福祉 環境部	<p>高齢化がますます進展する中で、地域コミュニティの担い手としての高齢者の社会貢献活動を促進していくため、岩手県では「高齢者社会貢献活動サポートセンター」を設置し、「ご近所支え合い活動助成金」により自主的な活動を行う老人クラブの活動支援を行っています。</p> <p>また、管内の事例では、(福)釜石市社会福祉協議会が、釜石地方森林組合の協力のもと、被災した高齢男性を対象として薪作りに取り組んでもらう事業を実施しており、参加した方々から好評を得ているとのこと。7月14日に振興局が開催した「現地復興推進本部会議」でもこの事例を発表していただき、関係者間で情報共有しました。</p>
3	<p>【内金崎加代子委員】 大槌町では、最近、江戸時代の価値ある仏像を修復して公開している。昔からあるものを生かした観光振興を、町をあげてやっていけたらいいと思っている。</p>	産業振興 室	<p>大槌町では、今年の4月から9月まで実施された東北デスティネーションキャンペーン特別企画として「郷土芸能かがり火の舞」を実施するなど、地域の伝統文化である郷土芸能と観光の連携に積極的に取り組まれています。</p> <p>歴史的・文化的に優れた資産は、その土地にしかない観光資源でもあることから、町や観光交流協会等と連携して、地域の特色を活かした観光誘客に取り組めます。</p>

4	<p>【内金崎加代子委員】 一時期流行った街コンがすっかりなくなった。参加者が少なかったのかもしれないが、形を変えて何かできるようなものがあればいいと考えている。</p>	保健福祉 環境部	<p>男女の出会いの場を創出する事業は、主に市町村が実施していますが、市町村から、広域で参加者を募集するイベント開催の提案があったことから、振興局事業として、沿岸広域から参加者を募集する「三陸縁結び支援事業」を11月3日に宮古市で開催しました。2回目は、令和4年1月23日に釜石地区で開催する予定です。</p>
5	<p>【佐藤智子委員】 気仙地域傾聴の会「こもれびの部屋」は、このコロナ禍でも、第一、第三金曜日に開催している。 働きながら、子育てしながら、いろいろな問題を抱えている方がいると思うので、そういう方々に相談に来てもらえるよう、ぜひ発信していただきたい。</p>	保健福祉 環境部	<p>県では、一人でも多くの自殺を防ぐため、各市町村や関係機関・団体とともに、啓発事業や各種相談支援等に取り組んでいます。 このうち、傾聴ボランティア団体が行っている相談対応は、住民全体を対象とする一次予防において、重要な役割を果たしていただいています。 貴団体「こもれびの部屋」の取組については、県のホームページの自殺関連サイトに掲載して周知させていただいておりますとともに、自殺対策に係る傾聴ボランティア団体の一覧表を掲載し、県民の身近な地域で活動されている団体を紹介しています。 引き続き、関係者の皆さまと連携して自殺予防啓発の推進に取り組んでまいりますので、御協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>
6	<p>【河野通洋委員】 三陸道がつながって無料区間が延長されたことから、コロナがおさまると、仙台圏もしくは仙台を入口として全国から三陸道を使ってお客様が来ることが予測されるが、このままでいくとかなり厳しい状況になるのではないかと。 宮城県の民間の取組が非常に一生懸命なこともあり、例えば松島を見た後に、南三陸、女川、気仙沼と回るところがたくさんあり、宮城県に泊まり、岩手県には来ずにそのまま帰ることが懸念される。 また、岩手県に来たとしても、内陸の花巻温泉や平泉を見た後に、三陸沿岸までどれだけ集客できるかが、大きな課題になってくると思っている。</p>	産業振興 室	<p>振興局では、三陸沿岸道路をはじめとした復興道路等の開通により、これまで三陸観光のネックとされていた時間距離が短縮されたことをPRするなど、隣県及び県内陸部からの誘客促進に取り組めます。 特に、石巻、気仙沼等の震災伝承施設のオープンや、NHK連続テレビ小説の影響により、南三陸への注目が集まっていることから、沿岸北部のあまちゃん観光資源との連携など、各地域の観光資源と連携し、誘客の更なる拡大に取り組めます。 また、高田松原津波復興祈念公園及び東日本大震災津波伝承館、世界遺産(橋野鉄鉱山)、三陸鉄道、三陸ジオパーク、みちのく潮風トレイル等の沿岸地域に足を運んでいただく動機となる観光資源を重点的にPRするとともに、大都市圏からの旅行商品の造成・催行支援などにより、県外からの誘客と周遊化の促進に取り組めます。</p>